

その先の、未来へ。産技短。



Access



山形県立産業技術短期大学校庄内校

SHONAI COLLEGE
OF
INDUSTRY & TECHNOLOGY



2022 学校案内

技術も、資格も、就職も。自分の夢を2年でかなえる新しい挑戦!!

技術を探求し 社会で活躍できる実践力を

教育理念

- ▶ ものづくりのセンスと高度な技術を身につけた実践的技術者の育成
- ▶ 優れた経営センスを持ったエネルギーッシュなビジネスパーソンの育成
- ▶ 地域産業の発展を担う人材の育成

集まれ! 地域の経済・産業を拓く若きチャレンジャー



山形県立産業技術短期大学校庄内校
校長 尾形 健明

本校は、山形県産業界の発展に寄与し貢献する、優れた人材を育成するために平成9年度に開校された職業能力開発短期大学校であります。

これまで、900名を超える卒業生が地域の企業や公的機関において、実践的技術者や経営人として、県の産業界を支えております。

これは、本校の強みである、実験や実習を重視する実践教育と教員一人あたりの学生数が3.3人という少人数教育の成果であると考えております。

学生たちは、充実した実習機器に代表される恵まれた教育環境のもと、優秀な実践的技術者、あるいはビジネスパーソンになるべく勉学に熱心に取り組んでおります。

さらに、令和2年度からは学科を改編し、習熟度別訓練やICT、IoTを活用した生産管理システムの開発技術訓練の

導入、医療事務関連科目を新設するなど、新しい時代のニーズをとらえ、地域産業界の求める人材の育成を図り、地域の継続的な発展に貢献する人材の教育を推進してまいります。

これまでに卒業した卒業生は、ものづくりを支える製造業をはじめ、情報サービス業、金融業、小売業、各種サービス業など多方面で活躍しております。今後も引き続き地域を中心とする産業界に優秀な人材を供給することが本校の重要な使命であると考えております。

日々変化し続ける現代社会において、新たな価値・モノを創造していくことに、失敗を恐れずチャレンジし、本県の経済・産業の未来を拓き支える実践的技術者、あるいはビジネスパーソンを目指す若い皆さんの入学を心からお待ちしております。



- プログラムで機械を動かしてみたい
- CADを使って設計したい
- 機械加工技術を身につけたい
- ものづくりに興味がある
- ロボットに興味がある
- 機械いじりが好き



技術系



学科名
生産エンジニアリング科
▶ P5~8

学科名

学びのポイント

予想される進路

生産性の向上を目指したオートメーションを実現するためのFA機器に関する技術者・リーダーの育成を目指します。

- 自動化・省力化機器設計製作
- 電気機器製造
- 金属製品製造
- 機械設計製造
- 半導体関連製造

- プログラミングに興味がある
- ソフトウェアやアプリを開発したい
- 世の中を便利にするシステムを構築したい
- コンピュータやソフトウェアの仕組みや技術を学びたい
- ネットワークや情報セキュリティ技術を学びたい
- 情報処理技術者試験にチャレンジしたい



技術系



学科名
情報通信システム科
▶ P9~12

ICT技術を活用し、スマートな社会や新しいサービスを実現できる技術者・リーダーを目指します。

- SE・プログラマー
- ネットワークエンジニア
- カスタマーエンジニア
- 生産管理

- ビジネスに関心がある
- 医療事務に興味がある
- 会計に興味がある
- パソコンの資格が取りたい
- データ分析に関心がある



事務系



学科名
IT会計ビジネス科
▶ P13~16

ビジネス情報と企業会計の高度なスキルとコミュニケーション能力を身に付けた地域経済を担うリーダー候補の育成を目指します。

- 製造業（事務系職種）
- 金融業
- 卸売業・小売業
- 医療機関（医療事務職）
- 会計事務所

庄内校の魅力

ATTRACTION 01 就職率100% (令和2年度) 圧倒的な就職率



ATTRACTION 03 教育環境 徹底した少人数教育

教員一人あたり学生3.3人とマンツーマンに近い教育体制となっており、個別指導に力を入れています。また、企業の生産現場での実習を取り入れながら、実践的な技術の習得にも力を入れています。

ATTRACTION 02 低学費

県内の国公立大学、あるいは私立大学、私立短大、さらには私立の専門学校（仙台市）との比較でも圧倒的に学費が安いことです。また、庄内在住であれば自宅からの通学がほぼ可能です。庄内地域以外の方は本校近辺に民間アパートもあり、3万円台から借りられます。また、授業料減免制度や奨学金に相当する技能者育成資金という学資の貸付制度もあります。

◎初年度にかかる授業料等の比較 (単位:円)	計
県立産業技術短期大学校庄内校	530,000
県内国公立大学	817,800
県内私立A大学	1,120,000
県内私立B短期大学	1,167,000
県外私立C専門学校	800,000

ATTRACTION 04 各種資格取得 在学中に企業で役立つ資格を取得

各学科とも各種資格取得に力を入れており、在学中に取得可能な資格については、少人数教育の一環として、一人一人丁寧な受験指導を行っております。

取得可能な資格の詳細は8、12、15ページへ

QUESTION & ANSWER

Q1 高校の普通科から進学しても大丈夫ですか？

もちろん大丈夫です。

入学当初は専門的な知識がなくても習熟度に合わせた指導を強化することにより、基礎からしっかりと学習し、着実に知識・技能を習得することができます。生産エンジニアリング科や情報通信システム科では普通科から、一方、IT会計ビジネス科では工業科等からの入学者も日々勉学に励んでいます。

Q2 技術系の学科に女子学生はいますか？

もちろんいます。

ほぼ毎年のように各学科とも入学しています。最近の求人の傾向として女性を積極的に採用する企業が増えしており、多くの先輩が活躍しています。

Q3 4年制大学への編入は可能ですか？

職業能力開発大学校への編入は可能です。

4年制大学（一般大学）への編入は現在認められていませんが、さらに高度な技術の取得を希望する場合は、独立行政法人が設置した全国10ヵ所にある職業能力開発大学校（4年制）3年次（応用課程）への編入が可能となっています。

Q4 学生寮はありますか？

残念ながらありません。

本校近辺（徒歩5分程度）に民間アパートがあり、3万円台から借りられます。

この他のご質問などは
オープンキャンパスや
本校ホームページの
お問い合わせフォームから
お気軽に
お尋ねください！



マスコットキャラクター
「さんぎさん」



生産エンジニアリング科

Department of Manufacturing Engineering

『ものづくり』のスペシャリストをめざす!

オートメーションを実現するためのFA機器に関する技術者の育成を目指しています

このような
教育を
目指します

製造業の現場では、生産性の向上を目指してオートメーション化が盛んに進んでいます。生産エンジニアリング科はこのオートメーションを実現するためのFA機器^{*1}に関する技術者の育成を目指しています。FA機器を設計、製作、メンテナンスするためには様々な知識や技術が必要となります。生産エンジニアリング科では3次元CAD^{*2}などのコンピュータを使用した機械設計や、NC機械加工^{*3}、機械を制御するために必要な電気・電子工学、シーケンス制御など広範囲な授業内容に対して、少人数制によるきめ細やかな指導を受けることができます。

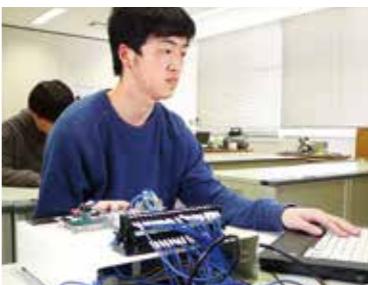
* 1 : コンピュータ制御技術を用いて工場を自動化すること、または自動化に使われる機器のこと。(Factory Automation)

* 2 : コンピュータを用いて設計をすること、あるいはコンピュータによる設計支援ツールのこと。(Computer Aided Design)

* 3 : 数値制御 (Numerical Control) による機械加工の方法。



CAE(機構運動解析)



シーケンス制御



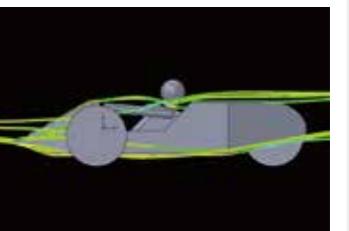
精密測定(三次元測定機)



校外学習(工業技術センター)

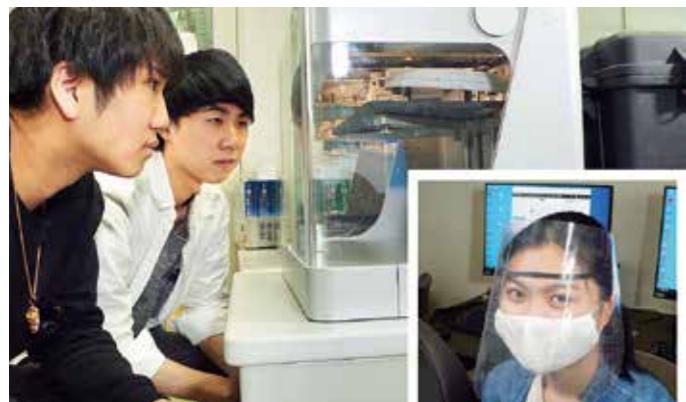
学科の特色とカリキュラム

生産エンジニアリング科での2年間の学習は、まず1年次に基礎科目を学び、2年次で専門科目を学ぶカリキュラムになっているため、普通高校の卒業生でも心配はいりません。また、2年次には希望によって生産システム、機械システムの2つのコースに分かれ、それぞれ応用的な内容に取り組みます。さらに、卒業研究で各自の希望や進路に合わせて選択したテーマについて研究開発を行います。

二年次	<h3>生産システムコース</h3> <ul style="list-style-type: none">工場の自動化のためのシーケンス制御、ロボット、生産システムの応用技術などを学びます。卒業研究 専門分野をより深く学ぶ  <p>FAライン：自動検査装置</p>	<h3>機械システムコース</h3> <ul style="list-style-type: none">数値制御による加工技術 (NC加工)、CAD/CAM^{*4}、コンピュータによる事前検討技術 (CAE)などを学びます。卒業研究 専門分野をより深く学ぶ  <p>エコラン競技車両の流体解析</p>	
	<p>● 油空圧工学 ● コンピュータ制御実習 ● メカトロニクス実習 ★ 3次元 CAD 設計</p>		
一年次	<p>機械系科目</p> <ul style="list-style-type: none">材料力学機構学機械加工学工業材料学 <p>★ 製図 (2次元CAD) ★ 測定法 ● 機械要素設計 ★ 機械工作実習</p>	<p>電気電子系科目</p> <ul style="list-style-type: none">電気工学電子工学電子工学実験	<p>制御系科目</p> <ul style="list-style-type: none">情報工学センサ工学シーケンス制御

* 4 : 製品の製造を行うために、CADで作成された形状データを入力データとして、加工用のNCプログラム作成などの生産準備全般をコンピュータ上で行うシステム。(Computer Aided Manufacturing)

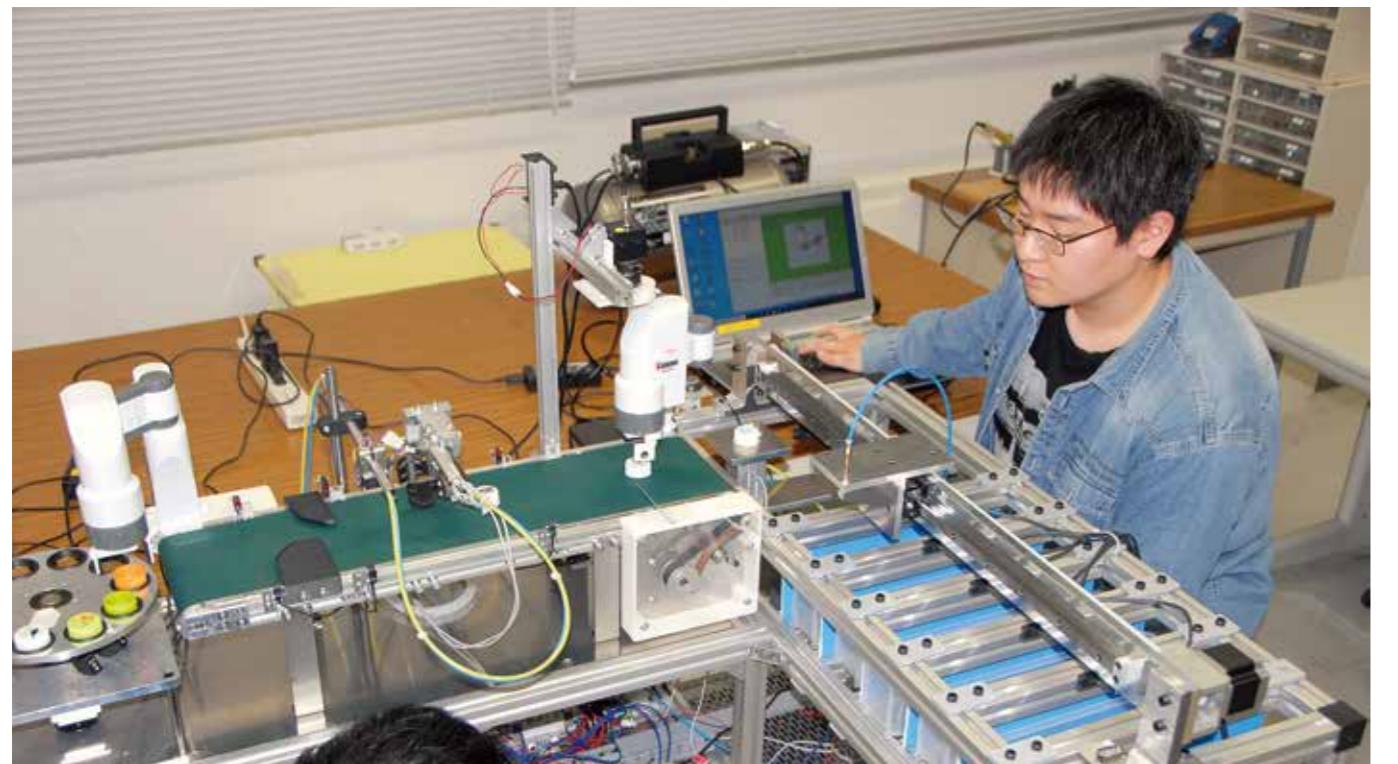
★ 習熟度別科目



3Dプリンタ(フェイスシールド)



エコラン競技会参加



実習作品(FAライン：自動検査装置)

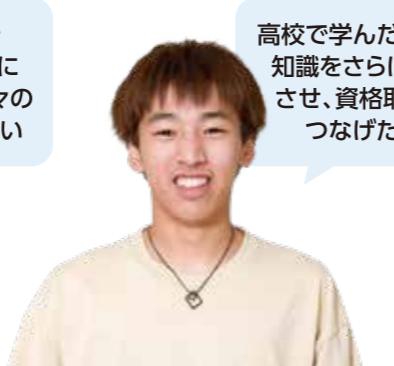
在校生から一言



新庄南高等学校 普通科 出身
高橋 幸造



鶴岡中央高等学校 総合学科 出身
小笠原 奏太



鶴岡工業高等学校 環境化学科 出身
鈴木 嶽也

自身の
スキルを磨き、
地域に貢献できる
技術者を目指したい

知識や技術を
身に付け、将来に
活かせるよう日々の
授業を頑張りたい

高校で学んだ技術や
知識をさらに向上
させ、資格取得に
つなげたい



制御機械科 平成30年度卒
スズモト精密株式会社

佐藤 葵

充実した学生生活から得た就職や仕事への自信

就職、仕事に対する自信を身につけることができました。

就職したスズモト精密株式会社では、プラスチック射出成形金型の設計・製造をしています。まだまだ未熟なところはありますが、図引きや現場での作業など様々な事に挑戦しながら日々の仕事に取り組んでいます。制御機械科で学んだからこそ、今の仕事にいかせる事がたくさんあると実感しています。

ものづくりのスペシャリストを目指しませんか？

生産エンジニアリング科は、旧制御機械科のカリキュラムを見直し、コンピュータによる製造工程の事前検討技術(C A E)、自動生産システムの構築を取り入れました。また、学生の習熟度に合わせた習熟度別科目を設定しました。新しく生まれ変わった生

産エンジニアリング科は、地元企業への就職やその後の活躍につながることを期待しています。ロボット関連技術や機械設計、機械加工技術などの分野を学び、ものづくりのスペシャリストを目指して一緒に学びましょう。



生産エンジニアリング科
教授 **佐藤 義則**

資格と主な就職先

取得可能な資格

- 普通旋盤作業 2・3級技能士
- 機械検査作業 2・3級技能士
- フライス盤作業 2・3級技能士
- 電子機器組立て 2・3級技能士
- マシニングセンタ作業 2・3級技能士
- シーケンス制御作業 2・3級技能士



- 機械加工や組立の技術者
- 生産技術やメンテナンスエンジニア
- 機械設計の技術者
- FA機器の開発技術者

主な就職先

【県内】阿部エンジニアリング(株)、(株)アライドテック、(株)石井製作所、(株)ウエノ、オリエンタルモーター(株)、花王(株)酒田工場、(株)グローバルマシーン、(株)高研、(株)齋藤農機製作所、(株)桜本製作所、スズモト(株)、(株)スタンレー鶴岡製作所、T D K 庄内(株)、T B R(株)、テクマン工業(株)、(株)ナンバ、(株)ニシカワ、(株)マスコエンジニアリング、松岡(株)、(株)ムトウ、(株)山形メタル、(株)ヤマトテック、(株)ヨロズエンジニアリング、(株)渡会電気土木

【県外】JFEスチール(株)、(株)新潟ジャムコ、日本電設工業(株)、フジテック(株)、(株)マイスターエンジニアリング



情報通信システム科

Department of Information and Communication Systems

ICT技術の実践的スキルを学び課題解決に取り組みます

スマートな社会や新しいサービスを実現できる技術者・リーダーを目指します

このような
教育を
目指します

「IoT(モノのインターネット)」「AI(人工知能)」などの活用技術が重要視されています。

情報通信システム科は、ICT技術を駆使して、スマートな社会を実現する新しいサービスを生み出す地域のリーダーを育成します。

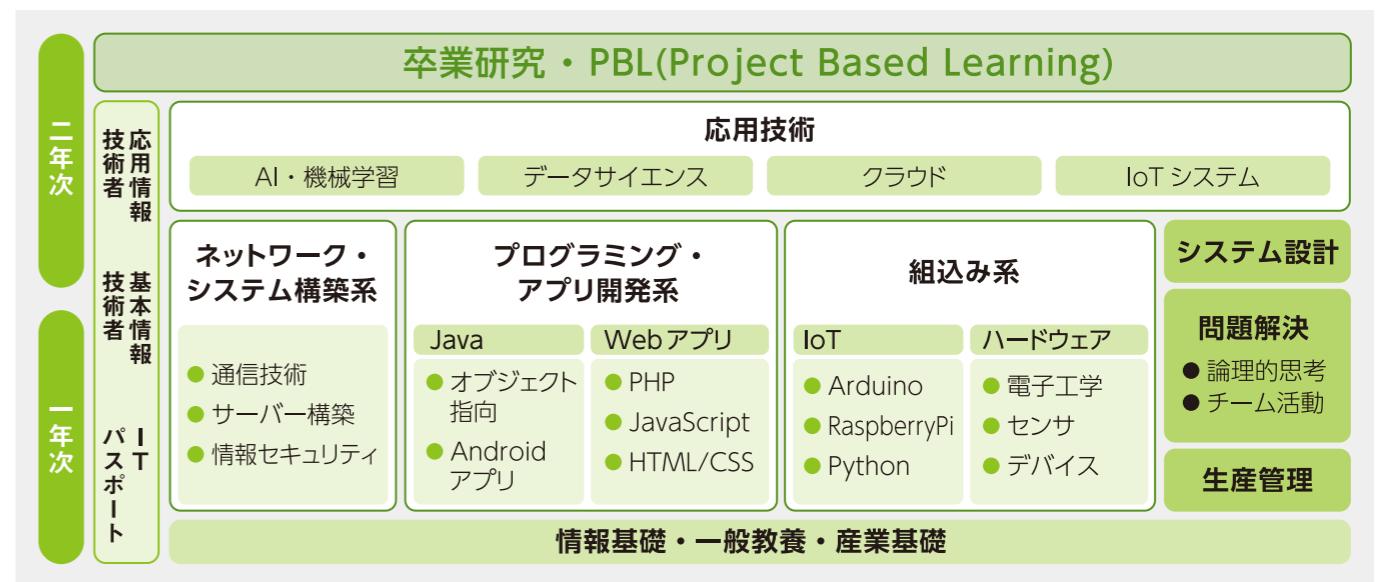


学科の特色とカリキュラム

1年次では、一般教養や情報基礎とともに、「ネットワーク・システム構築系」「プログラミング・アプリ開発系」「組込み系」等の専門技術について、実習を通して習得します。

2年次では、専門技術をもとに、AI・機械学習、IoTシステムに関する実習などの応用技術について学びます。さらに、卒業研究としてプロジェクト型開発(Project Based Learning)によるシステム開発に取り組みます。

こうした授業を通して、ICT技術を活用し、チームで課題解決できる実践能力を養います。同時に、校外学習や地域の企業等から講師を派遣していただくことで、地域産業について幅広い視野を養います。



基本情報技術者試験の午前試験免除講座を開設しており、資格取得のバックアップ体制も充実しています。

最新トピックス

PBL(卒業研究)とその事例



AIを活用したゴミの分別と回収アシストシステムの開発



地図サービスを利用したランニングゲームの開発 ©UTJ/UCA

競技会への参加



技能五輪全国大会や若年者ものづくり競技大会に挑戦することで、学生の技能・技術の向上を目指しています。これまで多数の入賞者を輩出しています。

新入生から一言



高校で学んだ
ICT技術の続きを
さらに深く学びたい



知識や技術を学び
将来役に立つ
資格を取得したい



地域へ貢献する
ために技術を
身に付けたい

酒田光陵高等学校 情報科 出身

長南 弥真斗

鶴岡中央高等学校 総合学科 出身

飛塚 尚弥

酒田西高等学校 普通科 出身

西塙 天音

卒業生
からの
メッセージ

実践的な学習で、スキルアップにつながりました

私は現在、地元IT企業で営業職として、お客様の課題を情報戦略で解決するための提案活動を行っております。 産技短の講義内容は、資格取得に沿った学習と実践的な実習を行うことで論理的思考能力を養い、ネットワークシ

ステムや情報セキュリティの知識は今でも仕事に役立っています。

在学中の2年間は企業実習や地元企業の方の講義を通して社会に出る前の心づもりの期間となり、幅を広げて自分を磨くよい機会となるでしょう。

教員
からの
メッセージ

地域の未来を創造するICT技術者に

私たちの社会では、ICTや関連技術を使うことで便利な日々を過ごすことができます。しかし、まだ私たちの住む地域社会では、イノベーションを待っています。ICTを学び、適用することで、新しい社会を創造し支える人材になりませんか。

情報通信システム科
主任講師
芝田 浩



コース制について

情報通信システム科では、情報技術を学んだことのある人向けの実践コースと、初めて学ぶ人向けの基礎コースがあります。特に実習科目や資格取得に関する授業を中心に、コース別（または習熟度別）の授業が行われます。要件を満たせば2年進級時に基礎コースから実践コースへの編入も可能です。

	情報技術者実践コース	情報技術者基礎コース
主な対象者	高校で情報技術の基礎を学んだ人	高校の普通科等の出身で、これから情報技術の基礎を学び始める人
入学時の前提	ITパスポート合格レベル	なし
学習目標・資格	基本情報技術者／応用情報技術者／高度情報技術者	ITパスポート／基本情報技術者
学習目標・実践力	入社後、仕事で与えられた課題を、ほぼ独力で実施できる	入社後、仕事で与えられた課題を、指示を受けながら実施できる
特徴	地域内で高大5年一貫教育を実現	要件を満たせば、2年次情報技術者実践コースへ編入可能

資格と主な就職先

取得可能な資格

- 基本情報技術者試験（午前試験免除制度あり）
- 応用情報技術者試験
- 高度情報技術者試験
- 情報処理安全確保支援士



主な就職先

【県内】(株)石川測量事務所、(株)エイアンドシー、オリエンタルモーター(株)、(株)管理システム、キューブワン情報(株)、酒田エス・エー・エス(株)、(株)JVCケンウッド山形、(株)庄内食肉公社、(株)スタンレー鶴岡製作所、(株)センタージムキ、(株)セントラルリース、ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング(株)、(株)高研、竹本産業(株)、(株)DNP情報システム、TDK庄内(株)、ティービーアール(株)、(株)テイディイー、テクマン工業(株)、東北エプソン(株)、(株)日情システムソリューションズ、パイプ・ラインエンジニアリング(株)、(株)平田牧場、(株)フェイバーエンジニアリング、(株)プレステージ・インターナショナル、松岡(株)、丸善食品工業(株)、ロイヤルネットワーク(株)、(株)YCC情報システム、(株)ワイテック
【県外】(株)アトム、(株)オーブン・システム・ソリューションズ、(株)S I G、J F Eスチール(株)、(株)ソリトンシステムズ、日本電設工業(株)、フジテック(株)、(株)富士ソフト



IT会計ビジネス科

Department of Information Technology, Accounting and Business

地域産業の未来を支える学び

ビジネス情報、企業会計の高度なスキルとコミュニケーション能力を身に付けます

このような
職業人を
目指します

- 1 クラウド会計システムやRPAを活用できる総合職や事務職
- 2 ビジネス全般の知識を身に付けた医療事務職
- 3 企業会計の高度な知識を身に付けた会計事務職
- 4 地域企業のビジネスや経営者を支える金融機関職員
- 5 データ分析ができ取引企業の業績向上に貢献できる営業職



学科の教育目標

ビジネス情報と企業会計の高度なスキルとコミュニケーション能力を身に付けた地域経済を担うリーダー候補の育成を目指します。



学科の特色

- クラウド会計^{*1}、RPA^{*2}を学ぶ実践科目の設置（コンピュータ会計実習・情報マネジメント実習）
- 習熟度別クラスによる学習進度に応じた教育訓練（簿記論Ⅰ・Ⅱ）
- ニチイ学館の協力により医療事務技能審査試験及び医事オペレータ技能認定試験に対応した授業科目を設置（医療事務Ⅰ・Ⅱ／医事コンピュータ実習）
- 地元産業界のニーズや地域の産業構造にマッチしたカリキュラムを用意、地元就職に有利
- ビジネスの実務経験豊富な教員を多数配置、就職後すぐに役立つ技能が習得できる

※1：インターネット技術を利用し、企業の会計処理をいつでもどこでも可能にするシステム

※2：Robotic Process Automationの略称で事務管理系の定型業務を自動処理するシステム

カリキュラム

1年次にはビジネス情報・企業会計・コミュニケーションの3つの分野の基本をしっかりと身に付けて
2年次にそれぞれの分野の高度な知識・技能を身に付けていきます。

二年次

ビジネス情報分野

- WEBデザイン（選択）
- 情報セキュリティ論（選択）
- データ解析実習
- 情報マネジメント論
- 情報マネジメント実習

一年次

ビジネス情報分野

- 情報技術論Ⅰ・Ⅱ
- データ解析論
- 情報システム論
- データベース
- 情報技術実習Ⅰ・Ⅱ



一・二年次共通

企業会計分野

- 簿記論実習A・B（習熟度別）
- 原価計算論
- ファイナンシャル・プランニングⅡ
- ビジネス会計論
- コンピュータ会計実習Ⅰ・Ⅱ
- 管理会計論

企業会計分野

- 簿記論ⅠA・B・C（習熟度別）
- 簿記論ⅡA・B・C（習熟度別）
- ファイナンシャル・プランニングⅠ



コミュニケーション分野

- コミュニケーション論
- マーケティング・コミュニケーション
- プрезентーション
- プрезентーション・デザイン
- 英語

コミュニケーション分野

- ビジネス実務
- 秘書実務Ⅰ・Ⅱ



幅広い知識・技術の習得

- 法学概論
- 経営関係法
- 経営学
- 医療事務Ⅰ・Ⅱ
- 医事コンピュータ実習
- キャリアライセンスⅠ・Ⅱ
- 体育Ⅰ・Ⅱ
- 論理国語
- 労働安全衛生論
- 安全衛生作業法
- 現代社会論ⅠA・IB
- 現代社会論Ⅱ
- キャリア開発論Ⅰ・Ⅱ
- 地域社会論
- 企業実習
- ゼミナール

授業科目の紹介

情報マネジメント論 (ビジネス情報分野)

現在、ビジネスの経営管理、経営戦略においては情報を管理し、効率化を図ることが求められています。それを踏まえ、日々目まぐるしく進化している情報技術がビジネスにおいてどのように活用されているのかを理論、実習を通して学びます。また、さまざまなICTツールやビジネスソリューションの利活用により問題解決能力を養います。



コンピュータ会計実習II (企業会計分野)

コンピュータ会計実習Iで学習した基本的な会計ソフトの操作及び会計処理に加え、より実務的な会計処理(会計ソフトを利用した経営分析方法、予算・資金管理方法、キャッシュフロー計算書の活用方法など)について学習します。また、インターネットを通じて一定のサービスや機能を利用できる「クラウド会計」についても学習します。



コミュニケーション論 (コミュニケーション分野)

コミュニケーションの定義、成立要件、基本的な会話モデルの知識とともに、言語・非言語コミュニケーションの基本技術、社会生活における個人間コミュニケーションと個人対集団コミュニケーションの技術、ビジネス活動における企業内コミュニケーションと企業間コミュニケーション技術について学びます。



最新トピック

医事コンピュータ実習を新設(令和4年度から)

1年次の医療事務I・IIで学んだ専門知識を深め、実践力を身に付けるために、令和4年度から新たに医事コンピュータ実習を開講します。

在学中にメディカルクラークとメディカルオペレータの2つの資格を取得して高い実践力を備えた医療事務職を目指します。



ビジネスパーソンにとって必要不可欠な知識やスキルを身につけます

国立社会保障・人口問題研究所によれば、2045年の庄内地域における生産年齢人口は2015年時点との比較で約半数になると予測されています。

その中で地域の活力を維持するためには、一人一人がスキルアップに努めるとともにクラウド会計ソフトやRPAといったツールを積

極的に活用し、生産性を高めることが必要不可欠です。

IT会計ビジネス科では上記のような地域の状況や地元産業界からのニーズに積極的に応じたカリキュラムを用意いたしました。

地域経済を担うリーダを目指す皆さんのご入学を心よりお待ちしております!



IT会計ビジネス科
准教授 原田 文規

資格と主な就職先

取得可能な資格

- 日商簿記検定1級・2級・3級
- 日商PCプロフェッショナル(文書作成2級・データ活用2級・プレゼン資料作成2級)
- ITパスポート(国家資格)
- 情報セキュリティマネジメント(国家資格)
- 紘書実務検定2級
- FP技能士(国家資格)
- メディカルクラーク®
- メディカルオペレータ(医事オペレータ) NEW!

本学科卒業生は、申請により税理士試験の受験資格を得ることができます。

主な就職先(旧・国際経営科)

【県内】余目町農業協同組合、北郡信用組合、(株)庄交コーポレーション、協同組合庄内企業振興協会、(株)スタンレー鶴岡製作所、生活協同組合共立社、(有)成和、(株)セノン、(株)ダイユーエイト、(株)鶴岡自動車学園、一般社団法人鶴岡地区医師会、(株)ツルハ、パイプ・ラインエンジニアリング(株)、(株)原田機械、東根市農業協同組合、(株)マツキ、(株)ヤマザワ薬品、(株)ヤマリヨー、(株)米沢牛黄木
【県外】イオンリテール(株)東北カンパニー、(株)さくらインベスト、サンケアホールディングス(株)、日本電算機販売(株)、日本郵便(株)、ベイヒルズ税理士法人

- 主な就職分野
- 製造業(事務系職種)
 - 医療機関(医療事務職)
 - 金融業
 - 会計事務所
 - 卸売業・小売業

新入生から一言



日商簿記1級を取得し、会計士を目指したい
山形市立商業高等学校 総合ビジネス科 出身
木村 路子



ビジネスについて学び、地域の企業に貢献したい
村山産業高等学校 流通ビジネス科 出身
柴田 耀佑



医療事務の知識を身に付けたい
酒田光陵高等学校 普通科 出身
高野 珠実



丁寧な指導により 短期間で資格取得



IT会計ビジネス科2年
酒田光陵高等学校 出身
渋谷 咲良

当科は、少人数制で資格取得に特化しているため、先生方の丁寧な指導や授業カリキュラムにより短期間で簿記検定やPC検定などの資格を取得することができます。

また、個人の実力や、希望職種に応じて編成されたクラスで、自分の目標達成に向かって、クラスメイトと一緒に資格取得や授業に取り組んでいます。

その他にも就活対策として、SPIや面接練習、企業実習など、就活に必要な知識などが学べ、礼儀やマナーも身に付けることができます。

2年間という短い時間ですが、自身のスキルや能力の向上を目指し、私達と一緒に自分の夢を叶えませんか。



簿記や情報処理の 知識をしっかりと 学べました



国際経営科 平成29年度卒業
北郡信用組合
左沢高等学校 出身
渡部 亮太

会計をはじめ、経営や情報技術などの社会で必要とされるスキルの基礎知識をしっかりと学ぶことができます。簿記の学習では、学生のレベルに応じて先生方がテキストを用意してください。なので、初めて簿記を学習する方でも安心して取り組むことができます。

私は現在本部の事務課で様々な数字やデータと触れ合っていますが、簿記や情報処理の基礎知識をしっかり学ぶことができたので苦手意識を持つことなく仕事に向き合うことができています。

2022年(令和4年)度入試概要

【募集人員】

学科名	コース名	募集定員	推薦入試		一般入試			社会人特別入試
			一般推薦	指定校推薦	前期	中期	後期	
生産エンジニアリング科	—	20名	12名		8名	若干名	若干名	若干名
情報通信システム科	情報技術者実践コース	20名	8名	6名	6名	若干名	若干名	—
	情報技術者基礎コース			—		若干名	若干名	
IT会計ビジネス科	—	20名	14名		6名	若干名	若干名	若干名

【入試日程】

試験	出願期間	試験日	合格発表	入学手続期間
推薦入学試験 社会人特別入試(第1期)	令和3年 10月18日(月)～11月1日(月)	11月6日(土)	11月11日(木)	11月15日(月)～ 11月29日(月)
一般入学試験(前期) 社会人特別入試(第2期)	令和3年 11月15日(月)～11月29日(月)	12月4日(土)	12月9日(木)	12月13日(月)～ 12月27日(月)
一般入学試験(中期) 社会人特別入試(第3期)	令和3年12月20日(月)～ 令和4年1月17日(月)	1月22日(土)	1月27日(木)	1月31日(月)～ 2月14日(月)
一般入学試験(後期) 社会人特別入試(第4期)	令和4年 3月7日(月)～3月18日(金)	3月23日(水)	3月25日(金)	3月25日(金)～ 3月29日(火) ^{※1}

※1 入学手続期間は、3月29日(火)12時まで。

入校料、授業料等

◆初年度納入金

(令和3年4月入学者の場合)

入校料	授業料	合計
14万円	39万円	53万円

◆入校料・授業料減免制度

経済的理由により授業料の納付が困難でかつ学業優秀と認められる場合、申請により、入校料、授業料の全額または半額を免除する制度があります。

◆奨学金制度

授業料などに充てる資金を労働金庫を通じて融資する「技能者育成資金」や国の教育ローンがあります。

産技短庄内校の学びや
キャンパスライフを
見てみよう!

OPEN CAMPUS

最新情報



7/17(土)
10/24(日)



キャンパス ライフ Campus Life

たくさんの思い出と繋がりを作ってくれる「キャンパスライフ」。
様々な活動や体験が、学生生活をより豊かなものにしてくれます。



庄内校教育振興会会長
酒田商工会議所会頭
株式会社 代表取締役会長
弦巻 伸

即戦力として地元産業を支える 地域振興の担い手としての活躍に期待

当大学校は、技術の進展が著しい現代社会に対応できる人材を庄内で育成してほしいという、私たち地域産業界の要請に応えて開校していただきました。

当会では、企業実習や校外学習など実践的なカリキュラムを側面から支援するほか、会員相互の連携を図ることにより、就職支援にも力を入れております。

今、企業を取り巻く環境は、AIを始めとする新しいテクノロジー、情報通信技術の急速な進展により大きく変化しており、最新の技術と幅広い知識を身につけた、多様なニーズに対応できる産業人が求められております。

将来性のある若い世代が高度な教育を受け、卒業後に即戦力として地元産業を支え、地域振興の担い手としても活躍されることを、地元経済界として大いに期待しております。当会といいたしましては、卒業後の地元定着を推進するとともに、学生生活を有意義に過ごされるよう、御支援いたします。

沿革

平成 8年 9月
山形県立産業技術短期大学校庄内校(仮称)の設置が
労働大臣より認可

平成 9年 4月
山形県立産業技術短期大学校庄内校開校
(制御機械科、電子情報科、国際経営科の3学科)

平成19年10月
創立10周年記念式典開催

平成25年 7月
県立酒田光陵高等学校と庄内校との教育連携に関する協定締結
平成26年 7月
県立鶴岡工業高等学校と庄内校との教育連携に関する協定締結

平成29年10月
創立20周年記念式典開催

令和 2年 4月
学科名変更(生産エンジニアリング科、情報通信システム科、IT会計ビジネス科)、カリキュラム見直し